第128期 株主通信

株主のみなさまへ

2023年4月1日から2024年3月31日まで

GUNZE

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
当社グループは2024年３月末をもって第128期を終了いたしましたので、ご挨拶を兼ねて決算概況についてご報告するとともに、当社のセグメント別内容などについても併せてご報告申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。

2024年6月
代表取締役社長　佐口敏康（さぐち としやす）

グンゼにしかできない「ここちよさ」をお客様に提供し続け、持続可能な社会の実現に貢献します。

◆当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）における日本経済は、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、地政学的緊張を背景とした原材料価格の高騰に伴う物価上昇や急激な為替変動及び世界経済の減速懸念など、先行き不透明な状況が継続しております。このような事業環境のもと、当社グループでは、中期経営計画「VISION 2030 stage1」の2年目にあたり、引き続き「新たな価値の創出」「資本コスト重視の経営」「企業体質の進化」「環境に配慮した経営」の4つの基本戦略への取り組みを進めました。

売上高は、前期の電子部品フィルム事業譲渡及び不動産開発プロジェクトの影響により、減収となりました。営業利益、経常利益は、アパレル事業の収益改善等により、増益となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、電子部品事業、スポーツクラブ事業、アパレル事業において構造改革を進めたことから、事業構造改善費用2,801百万円を計上しましたが、子会社への投資に係る将来減算一時差異等に対して法人税等調整額（益）2,575百万円を計上したことや、政策保有株式の売却による投資有価証券売却益2,009百万円の計上等により、増益となりました。

◆今後の見通し

機能ソリューション事業では、プラスチックフィルム分野は環境対応型新商品の積極的な投入とともに、サーキュラーファクトリー（資源循環型工場）の本格稼働とサーキュラーメーカーへ変革するための基礎となるリサイクルセンター設置を進めてまいります。また、設備の自働化や再生可能エネルギーの活用による生産革新を進める一方、米国・中国・アセアン等海外拡販を強化してまいります。エンジニアリングプラスチックス分野は、主力のOA市場向け製品のシェア拡大に加え、医療・半導体分野の需要増に対応するため、2025年3月完成を目標に主力である江南工場拡張を実施します。また経営資源の戦略的配分を推進するため電子部品分野については連結子会社の株式（85.1%）及び日本と米国のタッチパネル事業の商権を2024年10月1日（予定）に譲渡することとしております。メカトロ分野においても事業譲渡の交渉を行っております。

メディカル事業では、事業の成長を加速するため、2025年2月竣工を目標に京都府綾部工場敷地内に新工場（第三工場）建設とメディカルの開発力強化のための研究開発施設の増強を実施します。新工場では需要が拡大している癒着防止材「テナリーフ」の増産体制を整備します。また米国・中国の販売強化・継続的な新商品開発により、事業拡大を加速させてまいります。

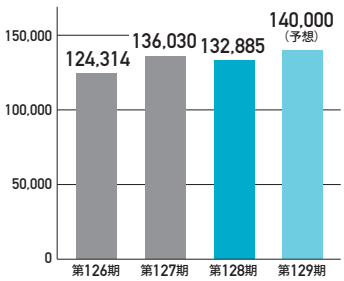
アパレル事業では、競争力向上を目的とした業種横断型の組織再編を通じて、消費行動変化に伴い伸長しているECチャネルや直営店舗のDtoCルートでの更なる拡販と他社とのコラボレーションを積極的に推進し、ライフスタイル分野への拡大、差異化新商品を通じたレディスインナーの拡販を図ってまいります。また生産拠点の集約など構造改革を行ってまいりましたが、今後もオートメーション化とグローバル最適生産体制の構築によりコスト競争力の強化を推進してまいります。加えて「物流の2024年問題」については、効率化（ロットまとめ、輸送量の標準化）に取り組み事業への影響の極小化を図ってまいります。

ライフクリエイト事業では、商業施設の収益力向上の推進や投資効率を重視した物件別管理を強化してまいります。グリーン分野では、大阪万博等への緑化需要の取り込みとCO_2削減に向け固定量増加に積極的に取り組んでまいります。スポーツクラブ分野は、不採算店舗の閉鎖等、課題店舗への対応を強化するとともに、スクール事業の拡大と地域・店舗特性に合わせた特長のあるサービス提供や新業態の開発に取り組んでまいります。

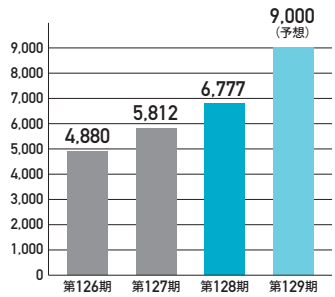
株主の皆さまには変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

決算ハイライト

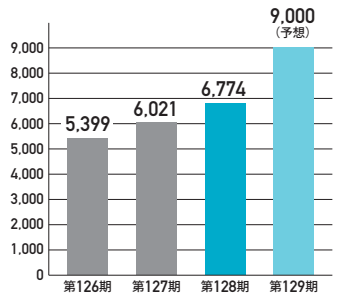
●売上高　単位：百万円



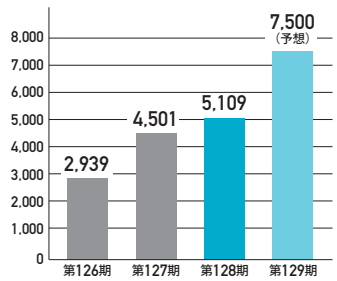
●営業利益　単位：百万円



●経常利益　単位：百万円



●親会社株主に帰属する当期純利益　単位：百万円



連結業績のご報告

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円、単位未満切捨て）

科目	2022年4月１日から2023年3月31日まで	2023年4月１日から2024年3月31日まで
売上高	**136,030**	**132,885**
売上総利益	**40,484**	**41,720**
販売費及び一般管理費	34,671	34,943
営業利益	**5,812**	**6,777**
営業外損益	208	△ 2
経常利益	**6,021**	**6,774**
特別損益	368	△ 2,270
税金等調整前当期純利益	**6,389**	**4,504**
親会社株主に帰属する当期純利益	**4,501**	**5,109**

売上高　前年同期比2.3％減少

機能ソリューション事業で5億円の減収、メディカル事業で7億円の増収、アパレル事業で8億円の減収、ライフクリエイト事業で25億円の減収となり、全体では31億円の減収となりました。

営業利益　前年同期比16.6％増加

機能ソリューション事業で8億円の減益、メディカル事業で、今後の成長に向けた人財投資コスト等の増加により微減益、アパレル事業で16億円の増益（前期は営業損失2億円）ライフクリエイト事業で1億円の増益となり、全体では9億円の増益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円、単位未満切捨て）

科目	2022年4月１日から2023年3月31日まで	2023年4月１日から2024年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,794	10,409
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,920	△ 190
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,007	△ 11,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	196	400
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 2,922	△ 728
現金及び現金同等物の期首残高	14,469	11,547
現金及び現金同等物の期末残高	11,547	10,818

営業活動によるキャッシュ・フロー前年同期比86億円増加

税金等調整前当期純利益45億円、減価償却費61億円などにより104億円の収入となり、前年同期比86億円の増加となりました。

株式の状況（2024年3月31日現在）

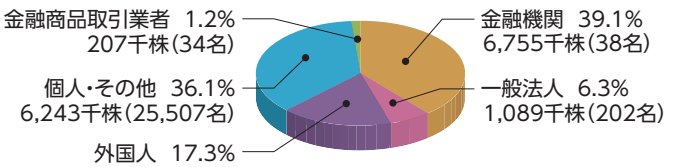
発行済株式の総数 …… 17,293,516株

◎**自己株式**（2023年4月1日から2024年3月31日）

取得　386千株（2,006百万円）
処分　17千株（76百万円）
期末　613千株（2,974百万円）

◎**単元株式数**：100株

株主数 …… 25,961名



（注）円グラフは発行済株式数に対する保有割合

大株主一覧（上位10名の株主）

株　主　名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,513	15.07
株式会社日本カストディ銀行	2,263	13.57
株式会社京都銀行	547	3.28
グンゼグループ従業員持株会	491	2.95
全国共済農業協同組合連合会	351	2.10
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	303	1.82
第一生命保険株式会社	290	1.74
株式会社GSIクレオス	271	1.63
損害保険ジャパン株式会社	199	1.20
JP MORGAN CHASE BANK 385781	195	1.17

（注）当社は、自己株式613千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

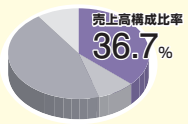
セグメント状況

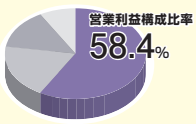
（注）当連結会計年度より、これまで機能ソリューションセグメントに含まれていたメディカル事業を「メディカル」セグメントとして新たに区分しております。
そのため機能ソリューション事業、メディカル事業のセグメント別数値は第127期以降の掲載となっております。

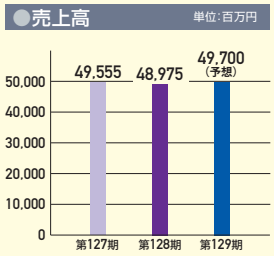
機能ソリューション事業

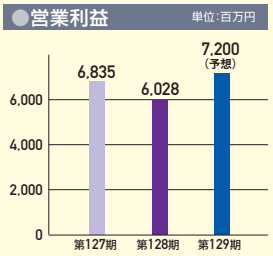
売上高 48,975百万円
（前年同期比 1.2%減）

営業利益 6,028百万円
（前年同期比 11.8%減）









（注）セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

プラスチックフィルムは、米国の包装用フィルムが堅調に推移しましたが、国内・アジアでは需要停滞の影響を受けました。エンジニアリングプラスチックスは、OA機器向けが停滞しましたが、半導体及び一般産業向けが堅調に推移しました。電子部品は、中国経済の停滞及びPC市場低迷の影響を受けました。

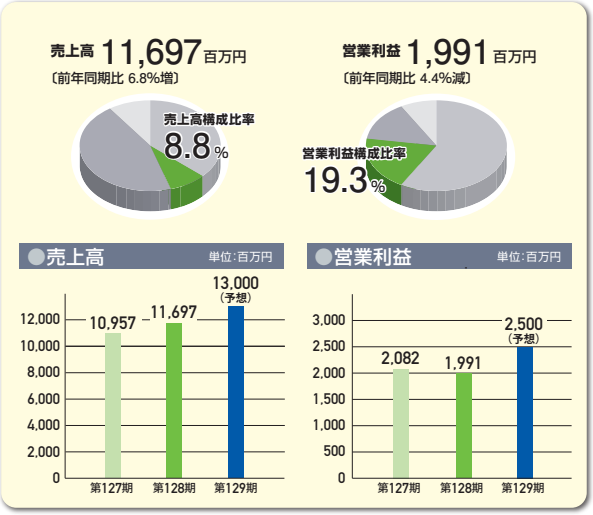
〈プラスチックフィルム分野〉

日用品などの包装に使われている
シュリンクフィルム

〈エンジニアリングプラスチックス分野〉

フッ素樹脂製半導体製造向け
フィルター用ネット

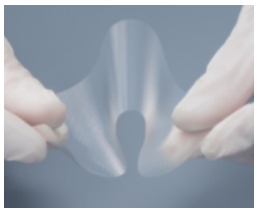
メディカル事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

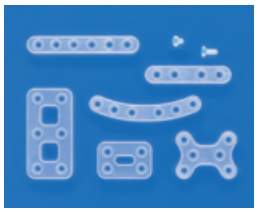
主力の国内医療用途市場の回復に伴い癒着防止材等の新製品の市場浸透が進みました。新たな代理店との取り組み強化により、中国では生体吸収性製品が伸長しました。コロナ後の美容医療機関の開院減少等により、医療用レーザーの受注が減少しました。

〈メディカル分野〉



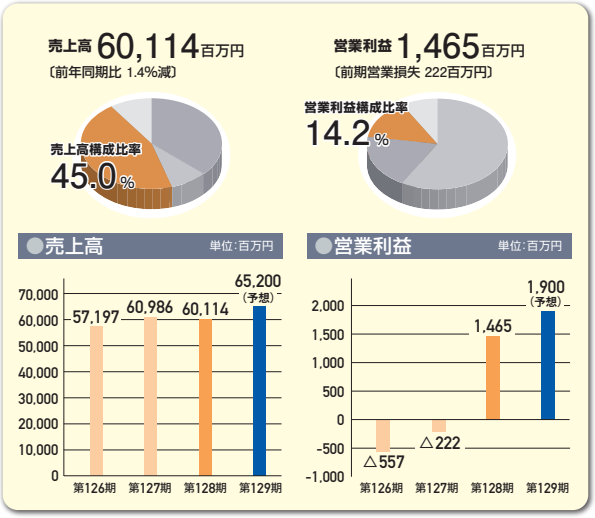
シート状吸収性癒着防止材
(テナリーフ)

人工皮膚(ペルナック)



吸収性骨接合材
(ネオフィックス)

アパレル事業

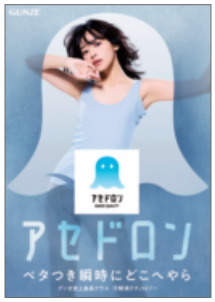


(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

アパレル事業全体では、残暑や暖冬影響によりシーズン商品は苦戦しましたが、差異化訴求した年間商品は好調に推移し、商品の高付加価値化を含めた価格改定及び事業構造改革により収益性が改善しました。強化を進めるEC・直営店ルートが引き続き伸長、今後もDtoCシフトによる成長戦略に取り組みます。インナーウエアは、顧客ニーズに対応した付加価値商品が好調に推移しました。レッグウエアは、主力商品「サブリナ」のリニューアル効果により、ストッキング、タイツが好調に推移しました。

〈インナーウエア分野〉

「身体を自然に回帰する」
BODY WILD が初のブランド刷新。
ボクサーパンツからトータルアパレルへ。
26年目の新たな挑戦
「BODY WILD」

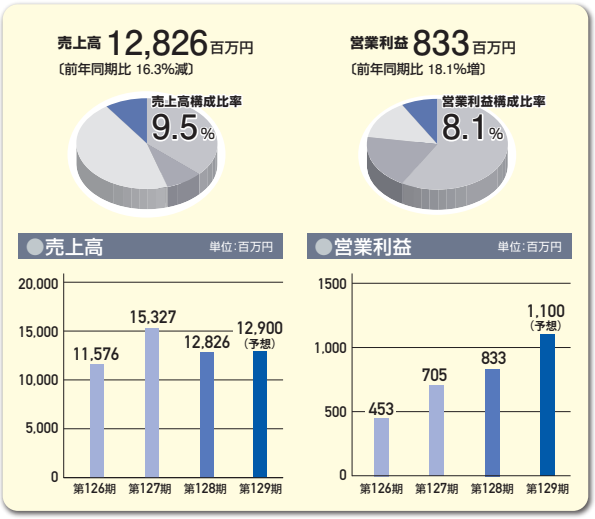


汗の不快がサッ・シュッ・パッと瞬間逃亡。
ベタつき瞬時にどこへやら。
グンゼ史上最高クラスの汗処理テクノロジー
「アセドロン」

〈レッグウエア分野〉

多様化したライフスタイルに合わせ
パンプスでもスニーカーでも
きれいな脚とキチンと見える足もとに。
「SABRINA」

ライフクリエイト事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

不動産関連は、前期の遊休地再開発プロジェクト売上影響により減収となりました。人流の回復により、ショッピングセンターとスポーツクラブは、ともに回復傾向にあります。

〈不動産関連分野〉

グンゼタウンセンター つかしん(兵庫県尼崎市)

〈スポーツクラブ分野〉

グンゼスポーツ

株主優待について

年2回／毎年９月末・３月末

通販カタログ商品の
30%割引優待

※カタログはイメージです

９月末／中間期のみ

保有株数と保有年数に応じた優待額を付与、優待額の範囲内でご希望の優待サービスと交換等いただけます。

クーポン	贈呈品	寄付
グンゼ公式通販【グンゼストア】でのお買物の際にご利用いただけるクーポンを発行	優待額の範囲内でお好きな製品と交換	優待額1,000円を１口として、こどもの未来応援基金へ寄付

※2023年度 こどもの未来応援基金への寄付金額は675,000円でした。

保有株数	保有年数		
	3年未満	3年以上5年未満	5年以上
100～299株	2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
300株以上	4,000円相当	6,000円相当	8,000円相当

取締役、監査役、執行役員、主な連結子会社 (2024年6月25日現在)

取締役、監査役

代表取締役社長兼社長執行役員　指名・報酬委員	佐口　敏康
取締役（社外）指名・報酬委員（議長）	中井　洋恵
取締役（社外）指名・報酬委員	鯨岡　　修
取締役（社外）指名・報酬委員	木田　理恵
取締役兼常務執行役員　グンゼ開発(株)代表取締役社長	熊田　　誠
取締役兼常務執行役員　経営戦略部長	岡　　高広
取締役兼執行役員　アパレルカンパニー長	河西　亮二
取締役兼執行役員　財務経理部長	澤田　博和
取締役兼執行役員　技術開発部長	奥田　智久
監査役（常勤）	鈴木　富夫
監査役（社外）	舩冨　康次
監査役（社外）	中　　紀人
監査役	森田真一郎

執行役員

取締役を兼務するもの以外の執行役員は以下の通りです。

常務執行役員	エンプラ事業部長	木村　克彦
執行役員	メカトロ事業部長	佐保　一成
執行役員	IP・リーガル部長	吉鹿　央子
執行役員	プラスチックカンパニー長	花岡　裕史
執行役員	グンゼメディカル(株)代表取締役社長	松田晶二郎
執行役員	人事総務部長	小倉　　誠
執行役員	コーポレートコミュニケーション部長	中嶋　順子

主な連結子会社

(国内)	(海外)	
福島プラスチックス㈱	Gunze Plastics & Engineering Corporation of America	(米国)
グンゼ包装システム㈱	上海郡是新塑材有限公司	(中国)
グンゼ高分子㈱	Gunze Plastics & Engineering of Vietnam Co.,Ltd.	(ベトナム)
グンゼメディカル㈱	Guan Zhi Holdings Ltd.	(香港)
東北グンゼ㈱	郡是医療器材(深圳)有限公司	(中国)
九州グンゼ㈱	Gunze(Vietnam)Co.,Ltd.	(ベトナム)
グンゼ物流㈱	Thai Gunze Co.,Ltd.	(タイ)
㈱ジーンズ・カジュアルダン	常熟郡是輔料有限公司	(中国)
グンゼ開発㈱	Gunze Hanoi Co.,Ltd.	(ベトナム)
グンゼスポーツ㈱	P.T. Gunze Indonesia	(インドネシア)
グンゼグリーン㈱		

会社の概況 (2024年3月31日現在)

社名	グンゼ株式会社
設立年月日	1896年8月10日
資本金	26,071百万円
従業員	1,449名(単体) 4,883名(連結)
本店	京都府綾部市青野町膳所1番地
大阪本社	大阪市北区梅田二丁目５番25号 ハービスOSAKAオフィスタワー22階 TEL(06)6348-1313
東京支社	東京都港区東新橋一丁目９番1号 東京汐留ビルディング15階 TEL(03)4485-0000

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
株主総会・期末配当金基準日	3月31日
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京(プライム市場)
証券コード	3002
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL: 0120-094-777(通話料無料)

GUNZE　ホームページはこちらから　グンゼ　検索

この株主通信はグンゼのコットンくずを再利用したサーキュラー コットンペーパーを使用しています。